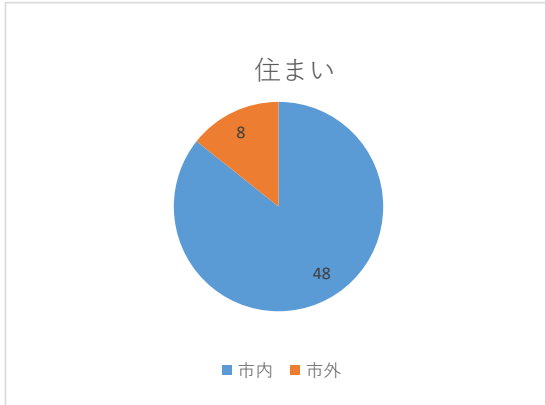


飯能市中心市街地まちづくりシンポジウム（令和5年3月26日開催）

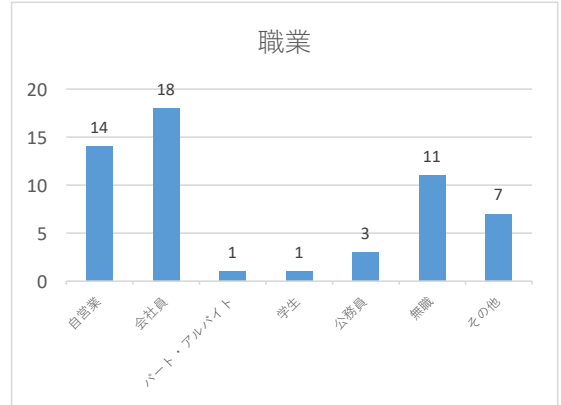
アンケート集計結果

1 ご自身について

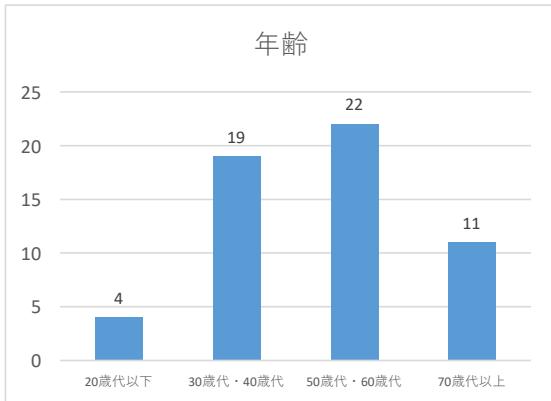
(1) 住まい（回答者数：56人、単位：人）



(2) 職業（回答者数：55人、単位：人）

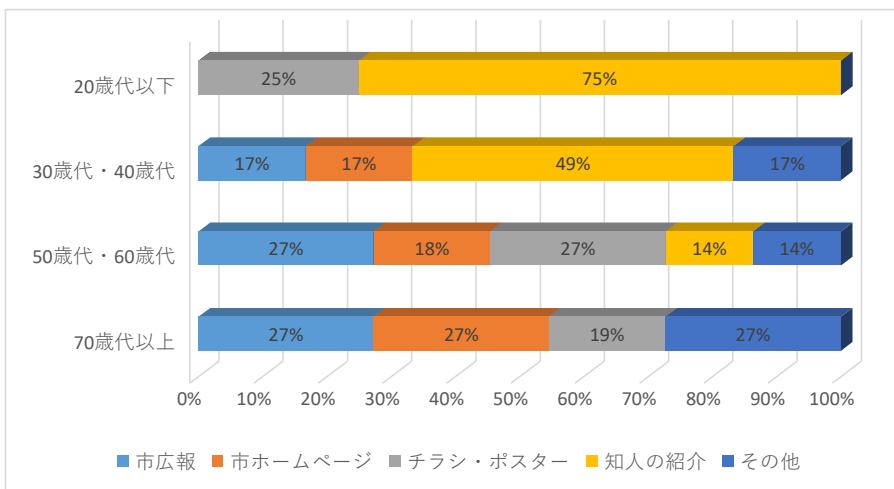


(3) 年齢（回答者数：56人、単位：人）



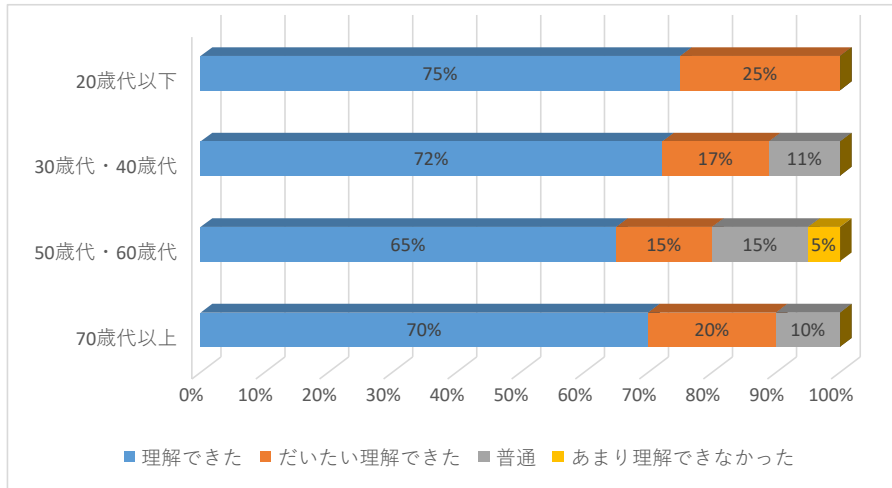
2 本シンポジウムについて伺います。

(1) シンポジウムをどのように知りましたか。（回答者数：55人、単位：%）

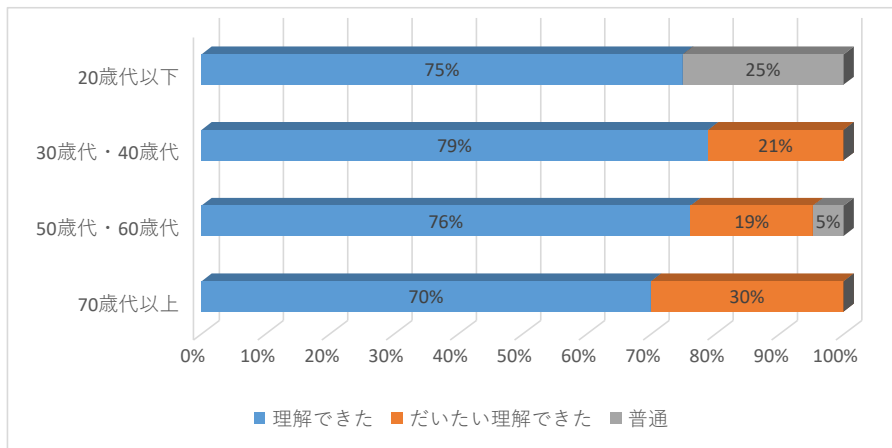


(2) シンポジウムの内容は理解できましたか。

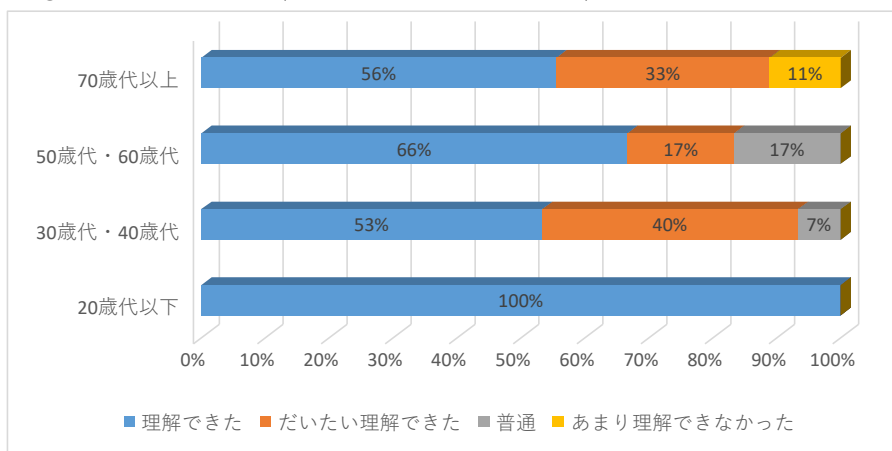
① 検討状況の発表 (回答者数：52人、単位：%)



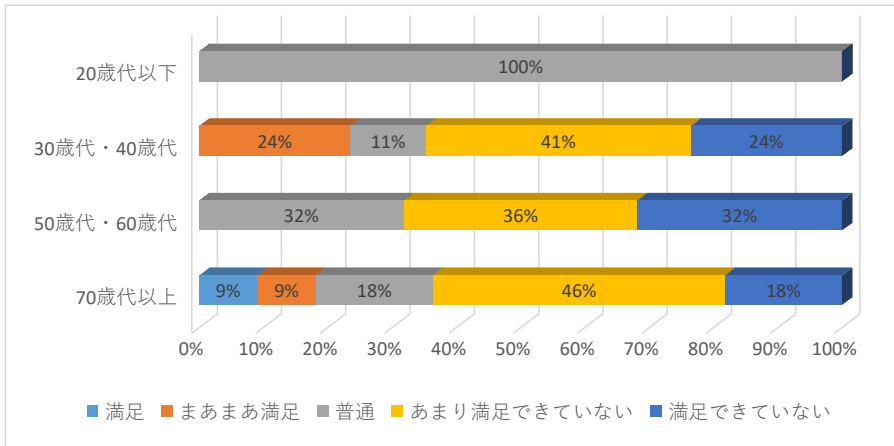
② 基調講演 (回答者数：54人、単位：%)



③ トークセッション (回答者数：45人、単位：%)



(3) -① 飯能市の中心市街地の現状について、満足できていますか。（回答者数：54人、単位：%）

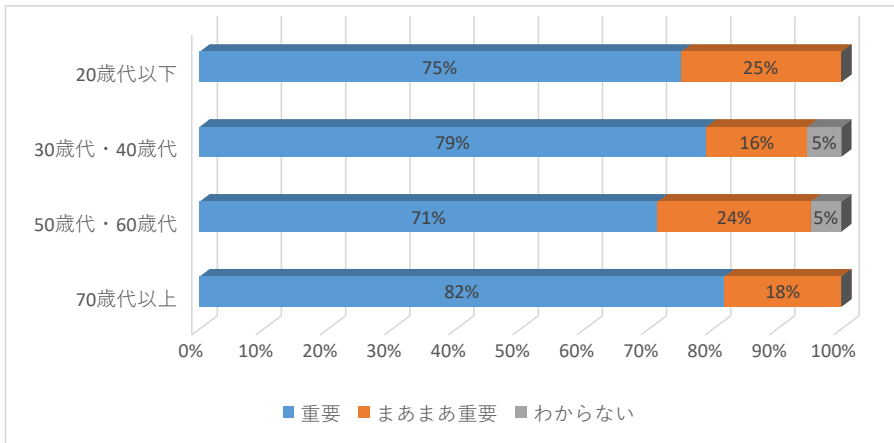


(3) -② 前問 (3) -①で、その選択肢にした理由を可能な範囲でお書きください。（抜粋）

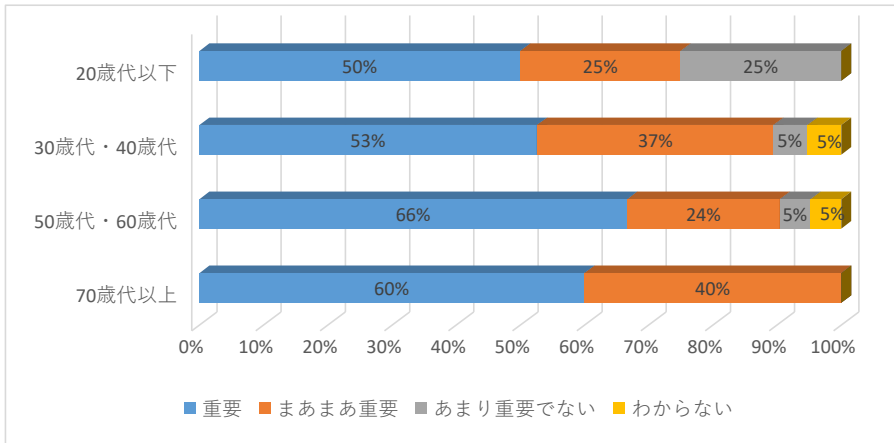
- まあまあ満足
 - ・新しいチャレンジをする個人のチームがあることはすごいと思う。
- 普通
 - ・生活していて困ることはない。
 - ・未来に向けてまだ伸びしろがある。
 - ・ポテンシャルは高いので伸びしろはある。
- あまり満足できていない
 - ・飯能駅の南北、東飯能駅の東西が線路で分断されていて連携がとりにくい。
 - ・せっかく登山客が来ても消費に繋がらない。
 - ・行きたいお店が少ない。
- 満足できていない
 - ・細い道が入り組み、車も人も安心して歩きにくい。
 - ・商店が少なく活気がない。
 - ・人通りが少なすぎる。
 - ・拠点がない。
 - ・若者が回遊できるまちづくりが望まれる。

(4) 中心市街地のまちづくりについて、以下の重要度をどう思いますか。

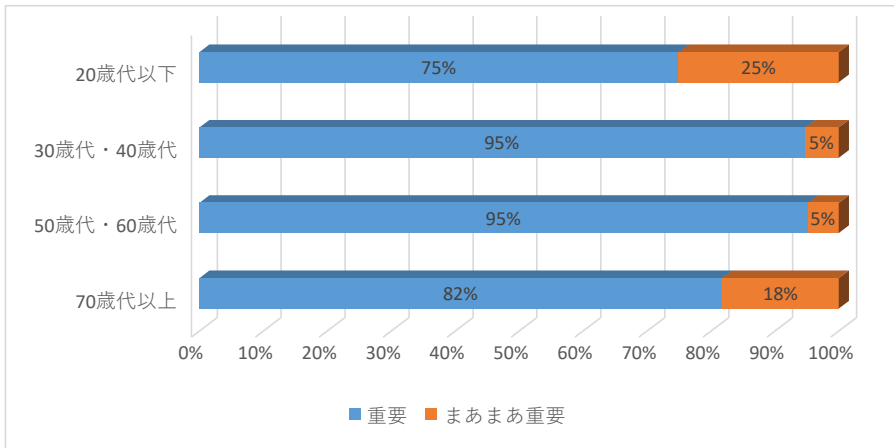
①新たなチャレンジを生み出す官民連携体制の構築と地域消費の創出（回答者数：55人、単位：%）



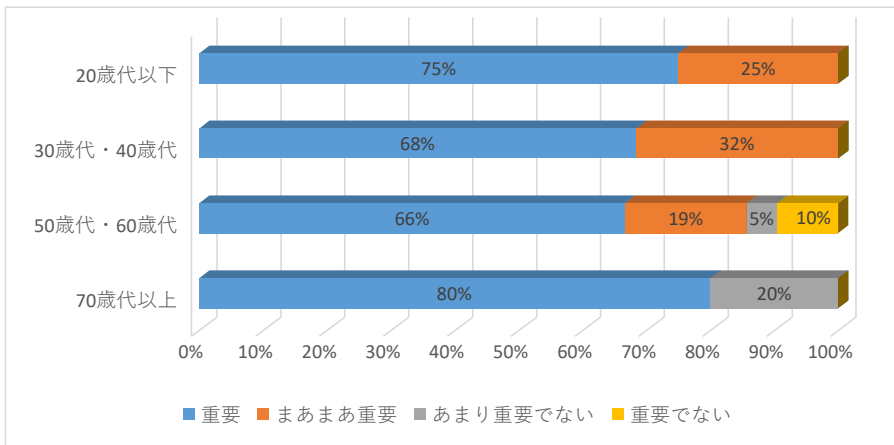
② 中心市街地の立地を生かした暮らし方、働き方の創出（回答者数54人、単位：％）



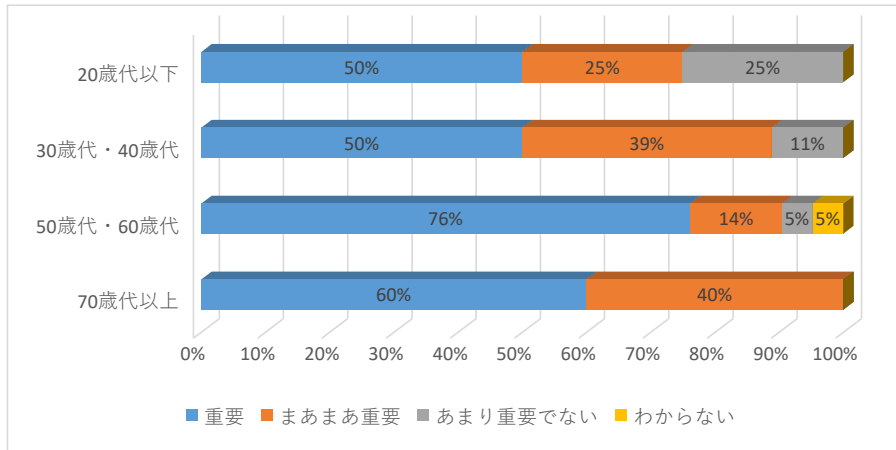
③ 志を持ってまちづくりに主体的に取り組む人の育成（回答者数：55人、単位：％）



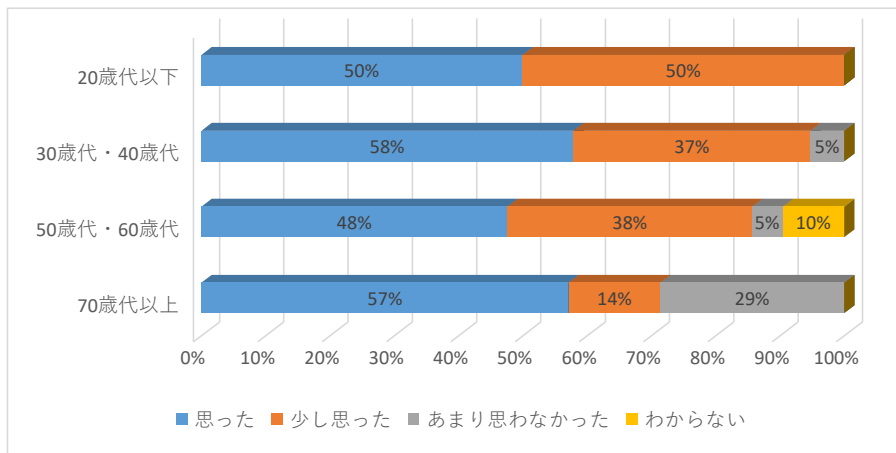
④ 森林文化都市の玄関口にふさわしいまちなみづくり（回答者数：54人、単位：％）



⑤車中心から歩行者中心の空間づくり（回答者数：53人、単位：％）



(5) 本日のシンポジウムに参加して、将来の中心市街地で何かに主体的に取り組みたいと思いましたか。（回答者数：51人、単位：％）



3 自由記述（抜粋）

- ・ 飯能の持つ魅力、具体的には天覧山、河原、歴史のあるまちなみ、これを生かして、なんだかほっとするようなまちをめざしてほしい。
- ・ 行政主導ではなく、市民主導でできたら無限の可能性を秘めているのではないかと思います。
- ・ 結局民間が、自分たちの利益だけではなく、どれだけその地域のまちづくりのことを真剣に考えているのかなのだと思います。
- ・ 一人の市民が、一人のプレイヤーであるのだと思えたシンポジウムでした。
- ・ 歴史のある建物、路地などを生かしてほしい。
- ・ 市内全てのバス停に「柱ベンチ」を置いてほしい。
- ・ 官民一緒に未来のまちづくりを考えてすばらしいまちにしたいと感じました。
- ・ 障害のある方も、子どもたちも「歩きたくなるにまち」になるといいなあと思いました。
- ・ 山形、川越のまちづくりは継続している。イノベーションに携わった次世代が住み続けていることが重要。
- ・ まちづくりは住民の継続的な熱い思いが最も大切。
- ・ 地域を中心に行政と共につくりあげることだと思う。
- ・ 来年度に市民との対話をし、ビジョンを策定するとのことですが、広く意見を聞き、10年、20年先を見据えたものにしてほしいです。